

がんばるや

もみじ福祉会ニュース

発行/社会福祉法人 もみじ福祉会

(第一もみじ作業所・第二もみじ作業所)

1996年5月
第9号

〒730 広島県広島市中区吉島西2-1-24

TEL (082) 243-0331

FAX (082) 243-0331

年に一度の「晴れ舞台
フラワーフェスティバル・パレード参加
(五月三日・平和大通り)

出店も
好評



去る三月二日・三日、広島刑務所のお誘いを受け、初めて「矯正展」に参加させて頂きました。



お母さんたち！カメラ目線ってこうするのよ！



お母さんたち！カメラ目線ってこうするのよ！

初めて出たよ 矯正展

作る「ボナス実行委員会」の勇気ある「飛び込み」のセーリングに快く協力頂いたのがきっかけで、今回の参加が実現しました。

職員の皆様のご援助で



刑務所とは、お隣ながら「緑道」となりましたが、もみじの仲間です。

位置づけ、取り組みを進め

組みました。

また、認可施設開所三年

の内部研修体制の確立

の内部研修体制の確立

の内部研修体制の確立

の内部研修体制の確立

の内部研修体制の確立

の内部研修体制の確立

の内部研修体制の確立

「法人化はゴールではない」 いよいよ本番

開所4年目を迎えて

このような状況の中、保護者会からの積極的な援助もあって、昨年十月には宿泊訓練をスタートさせることができた他、実践面では、昨年度からの持ち越し課題であったクラブ活動への取り組みの具体化、きめ細かな自治会指導、通所者自身の主体的関わりを力点を置いたボナス財源づくりの取り組み指導、そして、通所者のこの一年の仕事面での取り組みや成果をみんなが確かめ合う「年度発表発表会」の実施などを実現することができました。

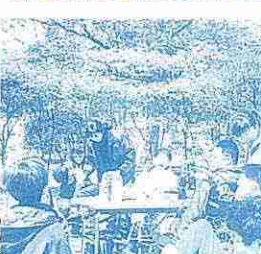
しかし現状は厳しく、通所者の七・八割が重度障害者という状況にあるにも関わらず、職員の定数が養護学校の半分にも満たないことや、養護学校の卒業を境に、障害者一人あたりに投じられる予算が1/10に減ってしまう状況では、できることにも限りがあると感じているのも、正直なところでは、

九六年度を踏み出すにあたって、私たちはこのような困難を改善し、広島福祉の充実に向けての道を切り開いていくために、日々実践の向上に加え、どんなに障害が重くても地域で暮らし、どんなに障害が重くても自分の意志が大切に

開所四年目を迎えるにあたり、今一度当時の気持ちに立ち戻り、このような取り組みとそれによって得られた広範な市民の理解と支援、その結果として実現できた条件整備、重度障害者が地域で暮らせる町づくり、そして、仲間の自立と発達を支えられる地域づくりのために、「法人化はゴールではない」「いよいよ本番」と、職員一同、気持ちを引き締めているところです。

寒波のお蔭で今満開

自治会『ひまわり会』行事 第一弾



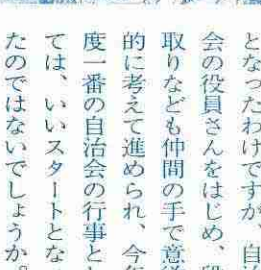
恒例となりました自治会の『ひまわり会』主催のお花見が、時は四月十一日、所は平和公園で盛大(?)に行われました。

「まだ花は咲いているかしら？」の心配も何のその。途中訪れた寒波のお蔭で、その日は桜満開のお花見日和。ちよつと寒いのが難でしたが、雨にも降られず、ますますのお天気でした。

今回頑張ったのは、何と云っても場所取り。噂によると、「平和公園は朝のうちブルーシートでいっぱいになる」ということで、(？)だったのですが、「現地には八時集合を(早)い人は七時半に来て、自治会のメンバープラス現地に直接来られる仲間が、頑張って場所を取ってくれました。寒い中、ご苦労様！

さて、もみじ集合組は、送迎バスが到着すると、いよいよ出発。数人は車で、あとのみんなは元気に歩いたり、車椅子で平和公園までやってきました。あいさつ・カンパイの後、花より、ビールより、

それでも開所四年目、三回目の自治会主催のお花見となったわけですが、自治会の役員さんをはじめ、段取りなども仲間の手で意欲的に考えて進められ、今年度一番の自治会の行事としては、いいスタートとなったのではないのでしょうか。



最後は、地声を張り上げての全員歌の歌で締めくくりました。

残念だったのは、公園内ではカラオケはもちろんです。

追力アルヨー 地声を張り上げての全員の歌で締めくくりました。

残念だったのは、公園内ではカラオケはもちろんです。

追力アルヨー 地声を張り上げての全員の歌で締めくくりました。

がんばった!

達のあゆみ 発表会 '95



一人一人が主人公!

三月二十八日(木)、広島市社会福祉センター・ホールにて、一年間の取り組みをまとめた発表会を行いました。題して、「明日の見える私達のあゆみ発表会'95」。

仲間達が一年を振り返り、自分達の頑張ってきた仕事を確認し、共感し合おうという目的です。発表会というからには、保護者や理事さん、お世話になっているボランティアさんにもぜひ見てもらいたい、と招待しました。総勢百三十名。「ホールが少し狭いかなあ」と感じるくらいでした。

ケーキと飲み物付きの、仲間にとっては嬉しい発表会。やる気満々、熱気あふれる当日の様子をお伝えしましょう。



さをり・縫製グループ



軽快な音楽にのって始まったのは、さをり縫製グループによる「ファッションショー」です。

自分達が織った布で作ってもらった衣装を着たさをりグループ。そして、自分で縫ったスカートをパンダナ風にかぶって登場の縫製グループの男性三人。みんな舞台狭しと踊り、息もピッタリ。どの顔もまぶしいほど輝いていました。

ボーナス実行委員会

夏冬の物品販売で約四百八十万円の売り上げがありました(会場から「すごい!!」との声)。その売り上げ「ベスト3」の発表では、実物や絵、その他、小道具を使って実行委員が大熱演。場内が一気に盛り上がりました。発表の台本は、事務局の仲間が中心になって考えました。

クッキー・パングループ



クッキー・パングループは、スライド発表でした。

一人一人が実際に頑張っている仕事内容をみんなに見てもらいたいというものです。スライドの説明も仲間達が考えました。

天板いっぱい並べられたクッキーを持って写っている姿に、言葉の出せない仲間の思いが、少しは表わせたかな……。

みんなの仕事に対する自信と誇りにあふれた表情が印象的でした。

軽作業グループ



軽作業グループは、「春・夏・秋・冬」の四季の流れの中で、仲間達が頑張ったことを発表しました。

季節が流れる中、仕事や色々な取り組みにチャレンジしている様子がよくわかる内容で、発表の最中も、一人一人が頑張っている姿や仲間同士で助け合っている姿が印象的でした。

印刷グループの発表はユニークでオリジナルカレンダーづくりの過程で取り組んでいる「品評会」の再現ドラマでした。得意の(?)拡大コピーを駆使し、最初のカットが二回三回と厳しい「品評」を経ることに、

見終わった保護者の方から「自分の子供がここまで頑張れるようになって嬉しい」と、また、ボランティアさんも「日頃は接しない仕事グループの様子が分かって大変良かった」と感想をいただきました。

初めての取り組みで、各グループで発表の仕方や内容に反省もあるようですが、仲間・職員とも「やって良かった!」来年もまたやりたい!」と思っています。

慌ただしい日々の積み重ねですが、振り返ると「あんなことや、こんなことも「なんだ」と、少しずつ前進していることに自信が持てます。



「ネエ、ネー、聞いて、聞いて」

「今日ね、泣いたんだよ。」

「あっちに行きたくないと言ったら、服を引っ張られたので泣いたんだよ。」

「ネエ、ネー、聞いて、聞いて」

「今日ね、公園に行つたんだよ。」

「ブランコと滑り台に乗ったんだよ。」

「楽しかったよ。」

「ネエ、ネー、聞いて、聞いて」

「今日ね、給食でハンバーグ食べたよ。」

「とってもおいしかったよ。」

「今度ね、お家で一緒に作ろうね。」



濱本 美代子

心の声

「ネエ、ネー、聞いて、聞いて」

「野球を見に行ったんだよ。」

「メガホンを持って、一所懸命応援したよ。相手のホームランでも大うらって大変なんだ。」

「カラオケに行ったんだよ。皆がうたう歌、総て唱ったよ。」

「私に負けないように唱うのって大変なんだ。」

私の一言コーナー

「ネエ、ネー、聞いて、聞いて」

「サッカーを見に行ったんだよ。」

「真ちゃん、ゴールキーパーだから、私がボールを蹴ったげる。」

「喜びたら、皆が白い目で見ただけ、気にしなかったよ。」



息子が小学校の頃、友達に「おばちゃん、この子、しゃべらんのどうしてわかるん?」と聞く子がいた。すると、すかさず「心の声を聞いてやりやいわかるんよ、おばちゃん」と言った子供がいた。

私の胸にズキンときた。心の声をしっかり聞いてやっていると、話の出来る子供だけに耳を傾けて、話せない子の声をおさなりにしてはいないだろうか? 言いたいことはいっぱいあるのに、相手に伝わらないもどかしさ。しっかり心の声を聞いてやらねばと思う。

「心の声を聞け」と言った彼も、今年からもう高校生。未だに「りえちゃん」と声を掛けてくれる。



夏祭り

好評「神楽」(予定)

掘り出し物 いっぱいバザー

出店: たこ焼・焼きそば
カレーライス・ハヤシライス
ピアガーデン etc……

伝言板



回業所

日(土) 10~

所にて



ぜひきてね!

今年はこのように 明日の見える私



今年も仲間や保護者の理解・協力を得て、四月十九日(金)、二十日(土)の両日にかけて、九五年度総括会議を開催しました。

標記のキャッチコピーは、毎年膨大な「総括資料集」の表紙裏に掲載されますが、今年も事務が「勝手に」つけたもので、あまり気にする必要はありません。とは、言っても、一定の的を射た「ねがい」でもあります。

さて、総括とは、もちろん、今後のより良き方針・政策を生み出すためのものですが、毎年、この「総括資料」が出来上がるまでがなかなか大変。言わずもがな、日々の実践で余裕のないもみじ作業所。各部・各

と云えます。一方、内に注ぐ努力でほとんどの力と時間を果たし、地域の要請に応じていく新たな事業展開や福祉制度拡充への運動面での取り組みが不十分

に終わったといえます。

さて、九六年度の方針の方向性は、一面でも述べていますが、キャッチコピー

授産会議でのまとめ作業は、印刷担当の事務にお尻を叩かれながら、あるいは、風呂敷残業でやつと期日に間に合う、といった例年の苦行の産物です。

会議内容をこの紙面で紹介するのは至難の業ですが、九五年度の活動を簡潔にまとめるならば、本紙一面でも述べている通り、開所三年目として、ますます「仲間を主人公」にした労働・生活各分野の実践を、きめ細かく整備・充実させてきた

「変わらなきや... ...本気だな... ...やるじゃねえか」

— '95 総括 会議 開催 —

① 将来構想検討委員会の拡充による将来構想基本計画の策定

② 「宿泊訓練小委員会」の「もみじの家運営委員会(理事会専門委員会)」への独立と緊急一時・レスパイト預りの具体化への取り組み

③ 福祉制度改善委員会の新設による法人運営安定や福祉制度拡充への取り組み

④ 後援会の再編や財政委員会の立ち上げによる財政基盤の強化

⑤ 職員の資質の向上と労働条件の整備

⑥ 通所者処遇の向上という課題があがっています。

もう少し具体的に紹介するならば、⑤については、講師の定期的招請による事例検討会、「実践レポート発表会」への改組などによる内部研修体制の充実

職員の送迎負担の一部解除による内務作業・会議の充実をめざすなどが提起され、⑥については、各授産の創意工夫はもとより、仲間・保護者との個人懇談や参観懇

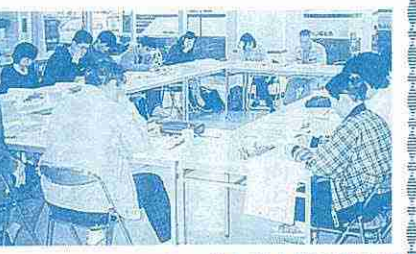
自分達が頑張った仕事ごとに説明をした後、ステージにズラリと並んだ仕事の絵。〇さんとダンボールの折りをしているところ、トントラックを職員と一緒に運転している僕、など、ダンボールの仕事や納品にかける意気込みがピンピン伝わってきました。

※ちなみに、発表会の看板(タイトルの横断幕)づくりをしたのもダンボールグループです。二時の休憩を返上し、文字を切ったり、色を塗ったり、十日もかかったそうです。

よりよいものへと完成していく様子をリアルに表現していました。難しいことはよく分からない他の仕事グループの仲間も、絵の変化には食いつくように注目していました。

このように「本気だな...」などについて提起されました。

「...」という熱い討議で総括会議を終えましたが、来年の総括会議で「やるじゃねえか」という評価を受けられるかどうか、一難題ばかりですが、今後の「本気」の頑張り、乞うご期待です。



もみじ福祉会 行事日誌

2月2日	広島市立養護学校 見学来所 ひかり協会連絡検討会
7日	吉島小学校 見学来所
9日	宿泊訓練(第7回)
10日	フードフェスタ96 出店参加
16日	保護者会例会
17日	白石先生 講演・学習会
18日	雪山体験学習(芸北文化ランド)
21日	市社協職員連絡協議会 見学来所
22日	ダイエー ナイスハートバザール(17日)
23日	宿泊訓練(第8回)
28日	通所者検診(第2回)
3月2日	広島刑務所「矯正展」 出店参加(13日)
8日	宿泊訓練(第9回)
15日	防災訓練
22日	宿泊訓練(第10回)
25日	もみじ福祉会第15回理事会
27日	大阪市立盲学校 見学来所
28日	保護者会例会
4月1日	「明日が見える私たちのあゆみ」発表会'95
4月1日	旭川市議会議員視察 来所
4日	クラブ活動日
11日	遠足(お花見)
12日	宿泊訓練(第11回)
19日	95年度総括会議(120日)
21日	「共同募金まつり」 実演参加
26日	宿泊訓練(第12回)
27日	保護者会総会
27日	共作連実践交流集会 参加

募集! 送迎

パート運転手さん パート添乗員さん

仲間(通所者)の午後の送迎を手伝って下さる方を求めています

時 間	月～金曜	15:30～17:00 (約1時間半)
時 給	運転手さん	1時間 800円
	添乗員さん	1時間 600円
資格・年齢	運転手さん	普通一種運転免許 (25～65歳位)
	添乗員さん	特になし (25～65歳位)
		(※障害者に理解があり、健康で元気な方)
募集人員	運転手さん	3人
	添乗員さん	5人

* 詳しくは…… 第一(第二)もみじ作業所
電話 243-0331 担当: 中沢まで

ノーマライゼーションプラン 中間報告

7月20日(祝)
P M 1:00～5:00
場 所 広島市社会福祉センター2F
(中区千田町1-9-43 ☎243-0051)

広島の障害者プランに私たちの思いを反映させるために集い意見を出し合しましょう

連絡先 障害者と家族のくらしと権利を守る広島連絡会
会長 久保正道
(昼)もみじ作業所 ☎243-0331

第4回 もみじ作業所
8月3日 PM 4:00
もみじ作業所
(駐車場はありません)

クラブ活動

体験記

「私、スポーツがやりたいな」
「僕、歌をうたいたい」
などの仲間の要求に合わせ、九六年度よりクラブ活動をスタートさせよう、ということになりました。それぞれ、どんなクラブに入りたいかを考えていくため、三月から四月にかけて「クラブ体験日」を設けました。以下、クラブの紹介をします。

スポーツA



△体をリラックスさせることでもリラックスス!
①体を全部使う、②歩く・走る、③体の部分を使う、④音楽をききながら体を動かそう!

マラソン、散歩、プールなどをやりました。

ブルの取り組みは、YMCAの学生さんが手伝って下さいました。クジラや魚のように泳ぐ仲間、おもちゃを使って水の中で過ごす仲間など、思い思いの時間を楽しめました。プールだから、準備(着替え)が早くできる仲間もいるんですよ。

音楽

＜歌をうたおう、楽器をひいてみよう、いい歌をきこう＞

初めに、ともだちコンサートの歌や童謡をリズムのついでに歌いました。その後、タンバリン、すず、太鼓などを使って、楽器演奏を楽しみました。みんなそれぞれ好きな楽器を手にして、楽しく演奏していました。最後に音楽鑑賞をしました。みんなの体が自然に動きだし、音楽鑑賞というよりは、「リズムに合わせて踊ろう!!」という感じで盛り上がりました。



料理

△おいしいものを作って、食べて、楽しもう!

体験メニューは、ホットケーキ・紅茶・イチゴフロートでした。トプレートでホットケーキを焼いて食べました。生地作り名人、焼き名人、測り名人、ひっくり返し名人、つまみ食い名人——と名人続出。十人十色の様子に、次は何を作るのか、ワクワク!!



楽しかったヨ

新庄高校のみなさんとソリスベリ!

二月十八日、芸北文化ランドにて、恒例となった新庄高校のみなさんと雪のちたつ中、一緒にソリスベリして下さったり、安全にすべれるように下で受けとめて下さったり、新庄高校のみなさん、本当にありがとうございました。



スポーツB

＜ルールのあるスポーツをしよう!＞

ゲーム的要素の強いものを、それぞれが主人公となりながらも、みんなが一緒に楽しむこと(勝ち負け)が目的です。球技大会など、いまでは外ではなかなかにない、お祭りやイベントなどで、室内でも楽しめるゲームが、一定のルールを返すように、ゲームのルールや風船やボールやサッカーやバスケットボールやフットボールやバレーボールや卓球やテニスやバドミントンや水泳など、いろいろなスポーツがあります。



創作B

＜色んなものを作ろう!感性をみがこう!＞

2回の体験日、共に自分が描きたいものを描きたいようにやってみました。花の絵・アニメ・おとぎ話のワンシーン・車...と色んなものを作りました。「空の色は何色かなあ...」と、窓の外の色を見上げながら色をつけたりしました。描いた後は、みんなで見せ合いこして「ここがステキね」などと感想を出し合いました。今後は、外に出て自然の中でも絵を描いてみたいものです。



宿泊訓練 もみじの家



昨年十月に始まった宿泊訓練も、回を重ね、三月まで十回を終了しました。訓練の中では、家事をマスター(う)する人たちから、家事をやってみる、お母さんと離れる練習をする、いつもと違う場所に泊まってみる、というような様々な

第五回

尾崎さん、北岡さん、小西さんの女の子トリオは、みんなで献立を話し合い、チキンライス、唐揚げ、サラダに決定。手作りの旗をチキンライスに立てて、かわい料理を作りました。

第七回

「私が米とぐよ。たまねぎ切るヨ」と、積極的だった浜本さん。

第九回

散歩を楽しむにしていた森坂君。やりたかった散歩ができて良かったね。

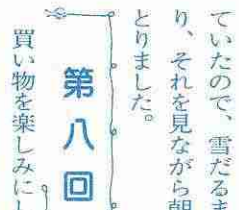
第十回

「肉を混ぜるのは出来たけど、ホットプレートに(ハ



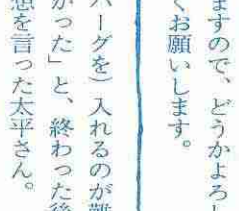
第六回

「ご飯を一人でといて、ジャリにセットして...」飯炊き省ちゃんと呼ばれ、まんざらでもない齊木君。途中、お父さんとお母さんがいなくて不安だったけど、無事一泊二日を終えることができた鳥羽君。朝は久保さん(世話人)と共に布団や毛布の片付けにも奮闘しました。



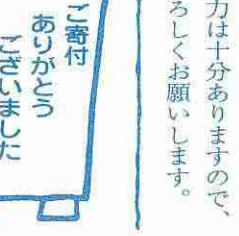
第八回

「買い物を楽しみにしていた徳永君と梶川君。お店で好きなお菓子を買いました。布団をひいたりするのも頑張ったゾ。



第九回

こんな風に仲間が頑張れたのも、お手伝いして頂いた世話人の皆さんのおかげです。仲間と一緒に料理を作ったり、楽しい話題でムードを盛り上げて下さったり、時には仲間がやり切らないうちに、見守って下さったり...と、本当にありがとうございました。



第十回

「肉を混ぜるのは出来たけど、ホットプレートに(ハ

輝け!! New Face

四月から、新しくもみじ作業所に入った職員三名を紹介します。



日切 香さん

もみじ作業所は二年目になりますが、今年度より正職員になりました。日切 香です。気持ちを新たに、そして、「明るく楽しく」をモットーに頑張っていきたいと思っております。どうかよろしくお祈りいたします。



藤葉 祐造さん



須藤 由美さん

みなさんと仲良くやっていけたらな、と思います。体力は十分ありますが、気力、よろしくお祈りいたします。

【寄付】
ありがとうございました
(1月~4月)

編集後記

さて、今号は五月号という名の六月末号になってしまいました。少々時期はずれの記事もありますが、ご容赦下さい。次号は予定に間に合うように頑張ります。

- 三村 スエノ 様
- 堀内 照子 様
- 小松 様
- 森菜店 H E C H A 様
- 山本 幸枝 様
- (物品寄付)
- 吉原 礼子 様
- 古江 マンション 一同 様
- 中村 要 上河内 神楽 団 様
- カルビー 製菓 様
- リリカラ 様
- (布) 東和 青果 様